

〈赤旗 6/18付〉

3セクACA 取締役総退陣へ

足立 共産党が乱脈経営追及

6/18H

乱脈経営が問題になっ
ていた足立区文化芸術劇
場(シアター1010)の
運営委託会社で同区
第三セクター「足立コ
ミュニティ・アーツ」(A
C)の古庄孝夫社長はし
め現取締役全員が、その
責任を認めて辞任するこ
とが十六日、分かりまし
た。同日開かれた区議会
総務委員会で日本共産党
の針谷みきお議員が、こ
の問題で追及しました。
同社の経営をめぐって
Aは、日本共産党区議団の
C Aは五日の取締役会で
追及で、二〇〇四年度に
全員の辞任することを確
認した。同日開かれた区
議会の開館記念事業で、採
算



「シアター1010」が入っている北千住駅前のビル＝足立区

足立コミュニティ・アーツ
「シアター1010」の
劇場運営の委託先(指定
管理者)として二〇〇二年に設立
され、区が57%(当初30%)の株
を所有する第三セクター。社長の
古庄孝夫氏は元自民党足立区総支
部長で、鈴木恒年区長の選対本部
長も務めました。日本共産党区議
団は、議会のたびにACAの乱脈
経営を追及し、改善を要求してき
ました。

を度外視した企画や無駄
づかいで七千万円もの赤
字を出し、協定書にない
「事務手数料」を一億四
千七百万円も区が支出し
たことが明らかになって
いました。
このほか、当初無報酬
だった同社長に月額六十
万円を上限とする役員報
酬の決定や接待交際費に
百三十三万円も支出する
一方、劇場貸出料の多額
の未収など、乱脈経営が
浮上っていました。石川
徳信氏らが「事務手
料」は不当な支出だとし
て、同手数料の返還を求
める住民監査請求も起こ
しています。
この日の委員会で、区
は経営上の問題があった
ことを認めることもに、
経営を立て直すため、区
の課長級職員を派遣する
方針を明らかにしまし
た。